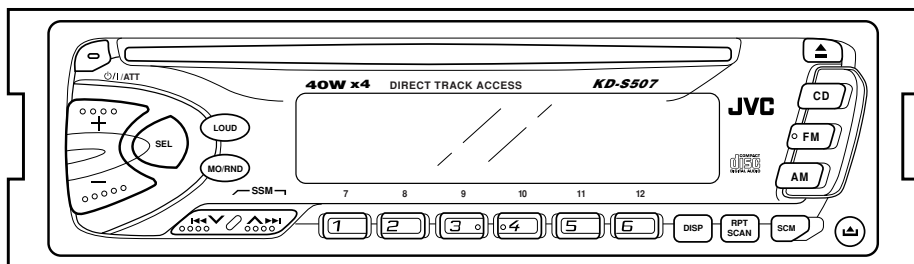


# JVC

# 取扱説明書

## CDレシーバー

# 型名 KD-S507



COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

— お買い上げありがとうございます —

**!**ご使用前に

この「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GET0095-001B

# もくじ

	ページ		ページ
●安全上のご注意	3～5	●故障かな？と思う前に	23～24
●使用上のご注意	6～7	・こんな表示のときは	24
●各部の名前	8～9	●保証とアフターサービス	25
●基本操作	10～11	●主な仕様	26
・時計を合わせる	11	●お手入れ	27
●ラジオを聞く	12～14		
・放送局を選ぶ	12		
・放送局を自動でメモリー(記憶)させる	12		
・放送局を選んでメモリー(記憶)させる	13		
・放送局を呼び出す(プリセット選局)	13		
・スキャン選局	14		
・放送受信中の表示内容を変える	14		
●CDを聞く	15～17		
・ダイレクト演奏	16		
・リピート演奏	16		
・ランダム演奏	16		
・CD演奏中の表示内容を変える	17		
・CDを取り出す	17		
・CDの盗難防止	17		
●SELボタンの使いかた	18～19		
・SCM LINK機能を使う	19		
・レベル表示を変える	19		
●音量・音質の調節	20～21		
・SCMボタンの使いかた	21		
・SCMのメモリー内容を変える	21		
●コントロールパネルの着脱	22		

# 安全上のご注意

—はじめにお読みください—

## 絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

### ●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

# 安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

## 警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのバック飲料等を放置しない。



- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

# ⚠ 注意

**本機の通風孔や放熱板をふさがない。**



・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

**運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。**



・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

**ディスク挿入口に異物を入れない。**



・火災や感電・故障の原因となることがあります。

**ディスク挿入口に手や指を入れない。**



・けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

**本機を車載用以外には使用しない。**



・感電やけがの原因となることがあります。

# 使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり40W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。  
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

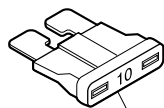
本機はBTL\*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ずこの取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの⊖側が車の金属部に接続されていたり、⊖側同士が接続されていると故障の原因になります。

\*BTL：Balanced Transformerlessの略  
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは10A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。  
また、10Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



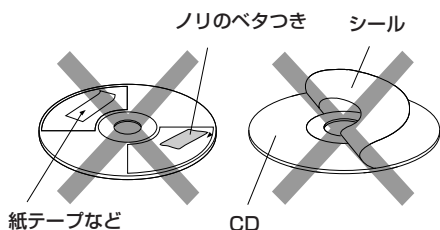
ヒューズ(10A)

●携帯電話を使用する場合は…

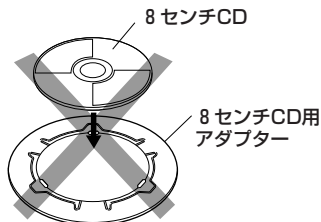
携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

## CD/CD-Rの取扱いについて

- **CD/CD-Rを保管するときは**  
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- **CD-Rの取扱いについて**  
CD-Rは、通常の音楽CDより反射膜が弱い  
ため傷が付くことなどにより、はがれる  
ことがあります。また、指紋による音飛びに  
も弱いメディアです。取扱いには十分注意  
してください。
- **記録面やラベル面に紙テープやシールを  
張ったりしないでください。**  
そのまま使用するとCDが取り出せなく  
なったり、故障の原因となります



- **ハートや花などの形をした特殊形状のCD  
は、絶対に使用しないでください。**  
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出  
せなくなったり、故障の原因となります。
- **8センチCD用のアダプターは、  
使用しないでください。故障の原因とな  
ります。**  
8センチCDは、そのまま挿入してくださ  
い。



- **長時間CDを使用しないときは、必ず本機  
から取り出しておいてください。**

# 各部の名前

—□の数字のページに説明があります。—

## +, - (音量) ボタン <sup>10</sup> <sup>20</sup>

音量調節や各種の設定ができます。

## 電源/ATTボタン <sup>10</sup>

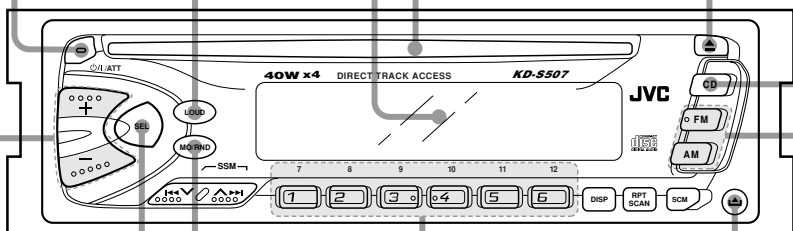
電源の「入」↔「切」ができます。

## LOUDボタン <sup>20</sup>

表示窓(ディスプレイ)

CD挿入口 <sup>15</sup>

## ▲ (CD取出し) ボタン <sup>17</sup>



## MO/RNDボタン

- ・「ラジオ」のとき：  
MOボタンとして働きます。<sup>14</sup>
- ・「CD」のとき：  
RNDボタンとして働きます。<sup>16</sup>

## 数字ボタン

- ・「CD」のとき：  
1～12が機能します。<sup>16</sup>
- ・「ラジオ」のとき：  
1～6が機能します。<sup>13</sup>

## ▲ (コントロールパネル取り出し) ボタン <sup>22</sup>

## SELボタン <sup>11</sup> <sup>18</sup>

音量・音質調節のモードが選べます。2秒以上押しと、時計合わせなどの各種設定モードになります。

## FMとAMボタン\* <sup>10</sup> <sup>12</sup>

ソース(音源)を「ラジオ」にしたりFMまたはAMの聞きたいバンドを選ぶことができます。

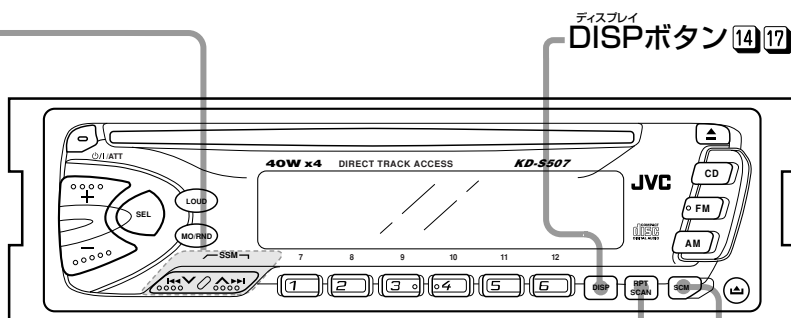
\*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。



## ◀◀、▶▶ボタン/選局ボタン(∨、∧)

ソース(音源)によって働きが異なります。

ソース (音源)	「CD」	「ラジオ」
働 き	曲の頭出しや早送り、早戻し ができます。⑮	放送局を選局するとき使いま す(オート選局/マニュアル選 局)。⑫ <small>メモリー</small> SSM機能を使ってFM放送の 放送局をメモリーするときは、 ∧と∨ボタンを同時に2秒以 上押します。⑫



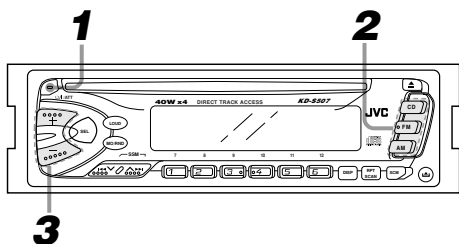
## リピート スキャン RPT/SCANボタン

- 「CD」のとき：  
RPTボタンとして働きます。⑮
- 「ラジオ」のとき：  
SCANボタンとして働きます。⑭

## SCM(サウンドコントロールメモリー)ボタン ⑱

# 基本操作

- 準備** ●車のエンジンをかける。



## 1 電源(電源)/ATTボタンを押して電源を入れる



電源/ATT

- ・「HELLO」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はFM1…が表示されます。

## 2 ソース(音源)を選ぶ

**CD** : 「CD\*」

**FM**

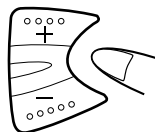
**AM**

} : 「ラジオ」…押しごとにバンドが選べます。

\* 本機にCDが入っているときのみ

- これらのボタンは、ダイレクトソース切替機能のほかに電源を「入」にすることもできます。

## 3 +、- (音量) ボタンを押して音量を調節する



- ・調節範囲  
VOLUME 00 ~ VOLUME 50  
(初期設定 VOLUME 15)

- 音量を一時的に下げる  
電源(電源)/ATTボタンを「ボン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

## ●電源を「切」にする



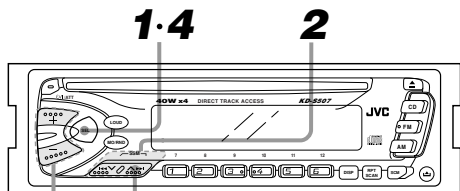
電源/ATT

- 電源(電源)/ATTボタンを1秒以上押します。「SEE YOU」が表示され電源が切れます。
- ・1秒以上押す。

## 〈お知らせ〉

- ▲(CD取出し)ボタンは、電源「切」のときも操作できますがソース(音源)は切替わりません。
- 音量・音質の調節は②①~②④ページをご覧ください。

時計を合わせる



3.1 3.3 3.2

1 SELボタンを2秒以上押す

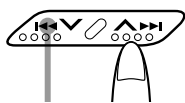


- ・お買い上げ時は「CLOCK H」が表示されます。→手順3へ進む
- ・これ以外のときは、選ばれているモードが表示されます。

・2秒以上押す。

15秒以内に

2 ▶▶I (またはI◀◀) ボタンを数回押して「CLOCK H」を選ぶ



逆に選べます。

CLOCK H

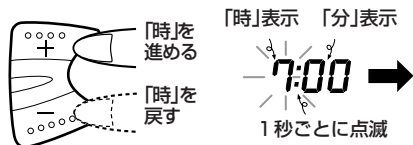
2秒後に時計表示に変わります。

15秒以内に

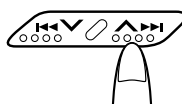
3 +、- (音量) ボタンと▶▶I ボタンで現在時刻に合わせる

例：7時30分に合わせる  
(12時間表示方式です)

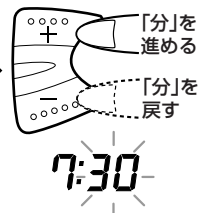
3-1 「時」を7に合わせる



3-2 「CLOCK M」を選び…



3-3 「分」を30に合わせる



15秒以内に

4 SELボタンを押す

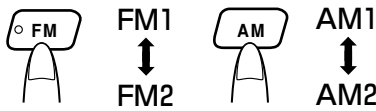
- ・元のソース (音源) の表示に戻ります。SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース (音源) の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~4の操作をします。
- 時刻合わせのとき、+、- (音量) ボタンを押し続けると連続して変わります。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、⑩~⑪ページをご覧ください。

# ラジオを聞く

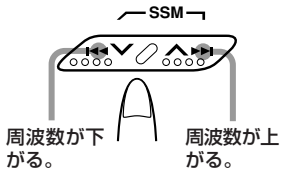
## 1 FMまたはAMボタンを押してバンドを選ぶ



・押すごとにバンドが選べます。

### ● 放送局を選ぶ

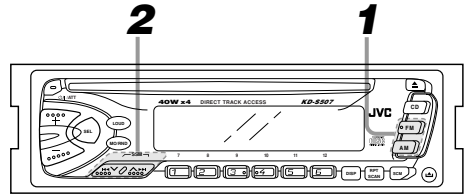
## 2 選局ボタン(∧または∨)を押して選局する



- オート選局: 「ポン」と押して離す。(シーク) 本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- マニュアル選局: 1秒以上押して「M」を表示させたあと、「ポン・ポン」と押して選局する。  
・FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

### 〈お知らせ〉

- ソース(音源)を「ラジオ」にするとFM放送は $\overset{1}{FM}$ または $\overset{2}{FM}$ 、AM放送は $\overset{1}{AM}$ または $\overset{2}{AM}$ が表示されます。
- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。



- 放送局を自動でメモリー(記憶)させる—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

## 2 選局ボタン(∧と∨)を同時に2秒以上押す(FM放送のときのみ)



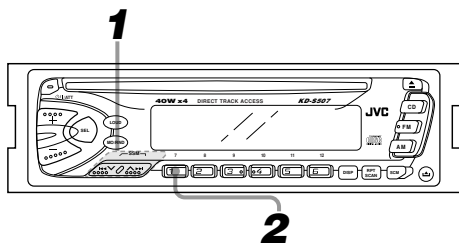
- 同時に2秒以上押す。
- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの $\boxed{1}$ ~ $\boxed{6}$ にメモリーしていきます。
- メモリーし終わると数字ボタン $\boxed{1}$ に記憶された放送局が表示されます。
- FM 1(またはFM 2)ごとに6局ずつメモリーされます。

### 〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにそのFM 1またはFM 2にメモリーしてあった放送局は取り消されます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所へ移動してから操作してください。
- AM放送のときは、SSM機能が働きません。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます。→13ページ参照

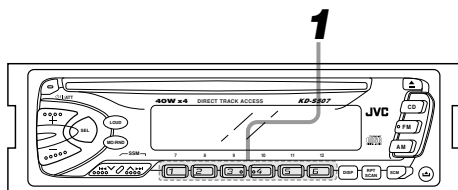
## 放送局を選んでメモリー（記憶）させる


SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。




## 放送局を呼び出す（プリセット選局）

数字ボタン（1～6）にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。



例：FM放送の81.3MHzを  ボタンにメモリーする

## 1 選局ボタン（ または ）でFM81.3MHzを選局する

→  ページの「放送局を選ぶ（オート選局またはマニュアル選局）」参照

## 2 数字ボタンの を2秒以上押す



→ 81.3 P1

・2秒以上押す。

押した数字ボタンと同じ数字が点滅すると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

## 1 数字ボタン（1～6）を押して選局する

（プリセット選局といいます）



- 数字ボタン（1～6）にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。  
（数字ボタンは2秒以上押し続けしないでください）

- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。AM放送は、必ずこの手順でメモリーしてください。

### 〈お知らせ〉

- FM放送の場合、この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

### ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー（記憶）した放送局は取り消されます。また時計表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度放送局や時計を設定し直してください。

# ラジオを聞く(つづき)

## スキャン選局

SCANボタンを押すと、自動的に周波数が高い方に移動し、放送局を探します。



放送を受信するごとに、その周波数が点滅表示され約5秒間聞くことができます。聞きたい放送局のときは、もう一度SCANボタンを押します。スキャン選局が終了し、その放送局を継続して聞くことができます。

## ご注意

### ● 電動アンテナ装備車の場合

本機の[リモート出力]コードを車両側のオートアンテナコントロール端子に接続している場合、ソース(音源)を「CD」に切替えても、電動アンテナは戻りません。本機の電源を「切」にすると戻ります。

## FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送の受信モードを「MONO」に切替えます。

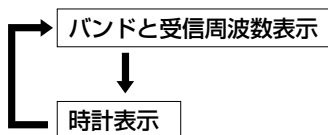


表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作をして「MO」表示を消します。FMステレオ放送を受信すると「ST」が表示されます。

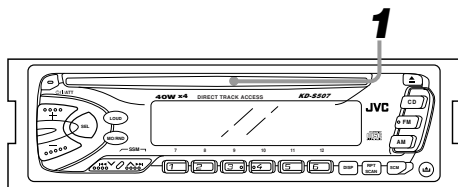
## 放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。

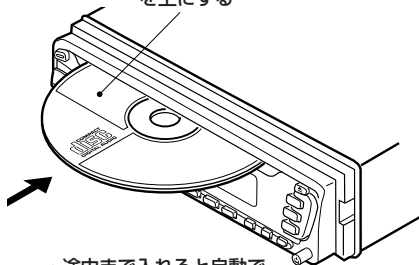


# CDを聞く





## 1 CDを入れる→ソース(音源)が「CD」になり演奏スタート

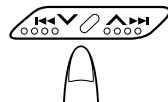
文字のある面  
を上にする



・途中まで入れると自動で  
引き込まれます。

- ・「PLAY ...」表示中は、CDのデータを読み込んでいます。終わると曲数と演奏時間表示に変わり、1曲目から演奏がスタートします。
- ・CDが入っていることを表すが表示されます。ソース(音源)を表すが表示されます。

- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。



曲の頭出し  
(スキップ)

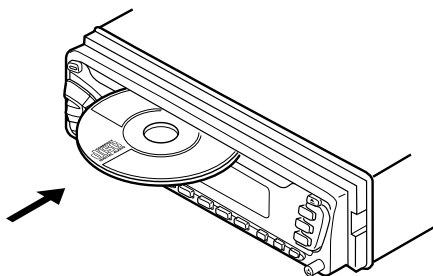
- ▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に  
移ります。
- ◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻り  
ます。押すごとに前の  
曲の頭に戻ります。

早送り・  
早戻し  
(サーチ)



- ▶▶ : 押し続けている間早送  
りされます。
  - ◀◀ : 押し続けている間早戻  
しされます。
- 演奏中の音が小さく聞こえ、  
指を離すと普通の演奏に戻り  
ます。

## ● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押して入れます。



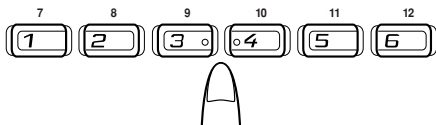
## 〈お知らせ〉

- 文字のある面に または  のマークが入っているCDをお使いください。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

# CDを聞く(つづき)

## ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。



### ・ 1～6曲目

数字ボタンを「ポン」と押します。

例：3曲目のとき



### ・ 7～12曲目

数字ボタンを1秒以上押します。

例：12曲目のとき

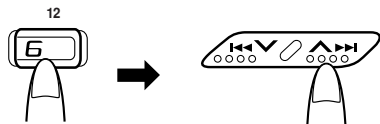


・ 1秒以上押す。

### ・ 13曲目以上は

▶▶ボタンを併用します。

例：15曲目



・ 1秒以上押す。

・ 3回押す。

## ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- 表示窓に「RND」が表示され、ランダム演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。

## リピート演奏(くり返し演奏)

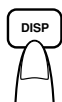
演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



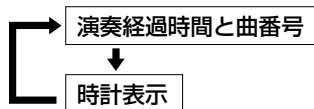
- 表示窓に「RPT」が表示され、1曲リピート演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。



## CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



## CDの盗難防止

CDを他の人が取り出せなくすることができます。



を押したまま



同時2秒以上  
押す。



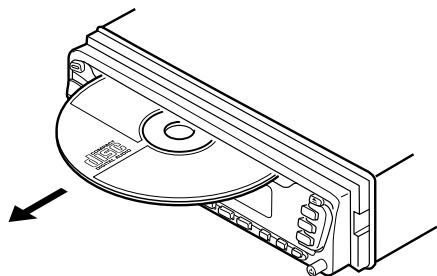
- 「EJECT」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT」が表示されCDが出てきます。

## CDを取り出す



▲(CD取出し)ボタンを押すと、「EJECT」が表示されCDが出てきます。

CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます)

## 〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDが出てきたあと電源が切れます。もう一度▲(CD取出し)ボタンを押すと、中に引き込まれたあと電源が切れます。

## 〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットの操作(➡➡ページ参照)をすると盗難防止機能は解除されます。このとき、本機にCDが入っていると勢いよく出てきますので、落とさないようご注意ください。

## CD-Rディスクについて

お客様が編集したCD-Rディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-Rディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-Rディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-Rディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CD-RWディスクおよびMP3には対応していません。



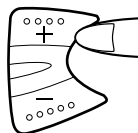
## SCM LINK機能を使う

各ソース(音源)ごとにお好みの音質で聞くことができます。

## 1 SELボタンを2秒以上押す

2 **▶▶**(または**◀◀**)ボタンを数回押して「SCM LINK」を選ぶ

## 3 +、-(音量)ボタンの+側を押して「LINK ON」にする



- ・「オン」にすると、各ソース(音源)ごとにサウンド(BEAT, SOFTまたはPOP)の音質をプリセットすることができます。
- ・「LINK OFF」に戻すときは、-側を押します。

## 4 SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。

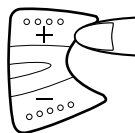
## レベル表示を変える

表示窓のレベル表示の内容を変えることができます。

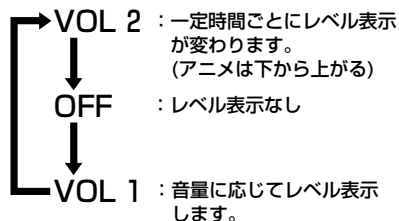
## 1 SELボタンを2秒以上押す

2 **▶▶**(または**◀◀**)ボタンを数回押して「LEVEL」を選ぶ

## 3 +、-(音量)ボタンを押してレベル表示のモードを選ぶ



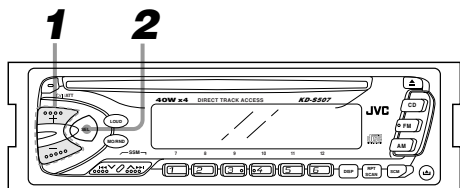
- ・-側を押すと逆に選べます。



## 4 SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。

# 音量・音質の調節



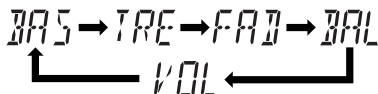
## ●音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	設定範囲
VOL(音量)	15	00~50
BAS(低音)	00(フラット)	-06~+06
TRE(高音)	00(フラット)	-06~+06
FAD(フェーダー)	00(センター)	リア R06~F06
BAL(バランス)	00(センター)	レフト L06~ライト R06

## 1 SELボタンを押して調節したい項目を選ぶ



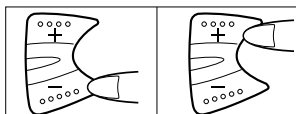
・「ボン・ボン」と押すごとに以下のように変わります。



・音量調節(VOL)のみのときは、+、-(音量)ボタンを直接押して調節します。

5秒以内に

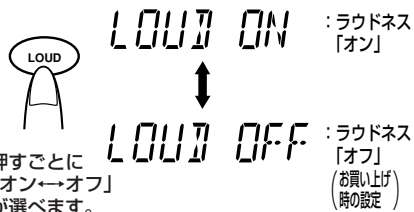
## 2 +、-(音量)ボタンを押して音量・音質を調節する



VOL (音量)	音量が下がる	音量が上がる
BAS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TRE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FAD (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる

・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

## ●ラウドネスコントロールについて



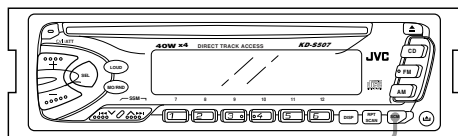
ラウドネス「オン」に設定すると、表示窓に が表示されます。小音量時の低音・高音が増強され聞きやすくなります。

## 〈お知らせ〉

- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- 調節したレベルが表示窓に表示されます。

## SCMボタンの使いかた

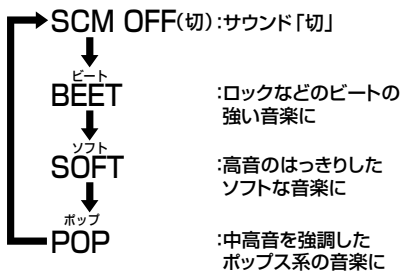
SCM(サウンドコントロールメモリー)ボタンを使うと、お聞きになる音楽に合わせてサウンドが自由に選べます。



SCMボタン



・「ボン・ボン」と押すごとにサウンドが選べます。「オン」にするとSCMが表示されます。



## ● SCM LINK機能について

SCM LINKとは、ビート・ソフト・ポップサウンドの音質を各ソース(音源)ごとに調節しメモリーしておく機能のことです。お買い上げ時は「LINK OFF」になっていますので、SCM LINKを「LINK ON」に設定します。(➡19ページ参照)。その後、お好みの音質に調節してください。ソース(音源)を変えるごとに違った雰囲気サウンドが楽しめます。

## SCMのメモリー内容を変える

## 1 ソース(音源)を選ぶ

・ラジオまたはCDを選びます。

## 2 SCMボタンを押してサウンドを選ぶ

・BEAT、SOFTまたはPOPのいずれかを選びます。

## 3 SELボタンを押して「BAS」または「TRE」を選ぶ

## 4 +、- (音量) ボタンで音質を調節する

・調節したレベルが表示窓に表示されます。

・ラウドネスを「オン↔オフ」したいときは、LOUDボタンを使います。BEATはお買い上げ時ラウドネス「オン」です。

・手順3と4をくり返して「BAS」および「TRE」を調節します。

⋮

・調節から5秒後に、表示窓はソース(音源)の表示に戻り調節したレベルが自動でメモリー(記憶)されます。

# コントロールパネルの着脱

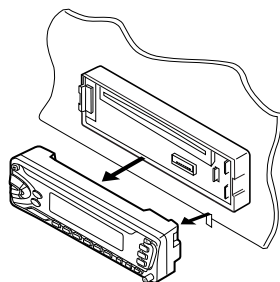
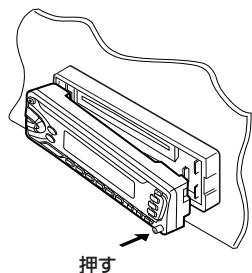
## コントロールパネルを外す

**1** 電源 / ATT ボタンを1秒以上押し続けて電源を「切」にする



・ 1秒以上押す。

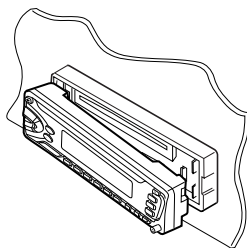
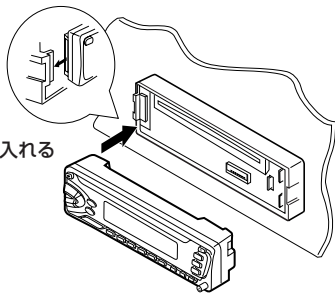
**2** 上 (コントロールパネル取り出し) ボタンを押す



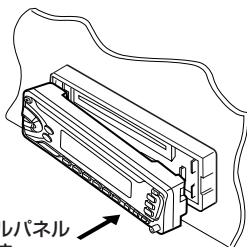
コントロール  
パネルを上  
に持ち上  
げながら  
外す

## コントロールパネルを取り付ける

**1** コントロールパネルの左側を本体に合わせて入れる



**2** コントロールパネルの右端を「カチッ」と音がするまで押す





コントロール  
パネルの  
右端を押す

# 故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

コントロールパネルの着脱・故障かな?と思う前に

症 状	原 因 ・ 処 置
<p>どのボタンを押しても正しく動作しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 →リセットの操作をする。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>SELボタンを押したまま…</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>PH/ATT</p> </div> </div> <p>PH (電源)/ATT ボタンを同時に2秒以上押す。</p> <p>(本機にCDが入っていると、勢いよく出てきますので、落とさないようご注意ください。また、時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げ時の設定状態に戻ります)</p>
<p>電源を切ったが「ATT」表示が点滅する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PH (電源)/ATT ボタンを「SEE YOU」が表示されるまで…1秒以上…押す。</li> </ul>
<p>電源が入らない。 (DISPボタンを押すと)時計は表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源 (ACCライン) のコードが接続されていないため。</li> </ul>
<p>CDの取り出しができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 盗難防止状態になっている。 →CDボタンを押したまま▲(CD取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。「EJECT」が表示されCDが出てきます。(⇒104ページ参照)</li> <li>● ▲(CD取出し)ボタンを押したままPH(電源)/ATTボタンを同時に2秒以上押す。 →このとき、CDが勢いよく出てきますので落とさないよう、ご注意ください。</li> </ul>
<p>CDを入れても音が出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音量を適度に調節する。</li> <li>● 内部のレンズが結露(つつつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。</li> </ul>
<p>CDを入れても「EJECT」が表示され出てきてしまう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDが裏返しに入っている。 →文字のある面を上にしてCDを入れ直す。または、他のCDを入れて本機が異常でないかを確認する。</li> <li>● CD-RWディスクを入れたため。 →CDを交換する。(CD-RWディスクには対応しておりません)</li> </ul>

# 故障かな?と思う前に(つづき)

症 状	原 因 ・ 処 置
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。</li><li>● 車両のオートアンテナコントロール端子(またはアンテナブースター電源端子)に本機の「リモート出力」コードを正しく接続する。</li><li>● 放送局の周波数に正しく合わせる。</li><li>● 携帯電話などを本機から離す。</li></ul>
CDの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>● CDの出し入れのときは、音声にミュートイングをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。</li></ul>

## こんな表示のときは

表 示	原 因 ・ 処 置
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"><li>● CDが入っていないときCDボタンまたは▲(CD取出し)ボタンを押したため。 →CDを入れる。</li></ul>

### 〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。



# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間  
お買い上げの日から1年間

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

## 持込修理

⑳～㉒ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

### 保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎( ) -

# 主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

## CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング  
周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：93dB
- S N 比：95dB

## チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1  
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
  - 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
  - 実用感度：14.3dBf(1.43 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
- AMチューナー部
  - 受信周波数：522kHz～1,629kHz
  - 実用感度：27dB $\mu$ (22.4 $\mu$ V)

## オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 40W+40W  
(4 $\Omega$ , 1kHz)  
リア 40W+40W  
(4 $\Omega$ , 1kHz)
- 適合インピーダンス：4 $\Omega$ (4 $\Omega$ ～8 $\Omega$ で使用可能)

## 電源部・その他

- 電 源 電 圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)  
マイナスアース車用
- 取 付 寸 法：幅178mm×高さ50mm×奥行150mm
- 外 形 寸 法：幅178mm×高さ50mm×奥行167mm
- 質 量：約1.3kg(付属品含まず)

## 付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター)…………… 1
- ・ネジ(M5×6mm)…………… 4
- ・皿ネジ(M5×6mm)…………… 4

## 別売りアクセサリ

- ・クリーニングキット：CK-25(CD用)

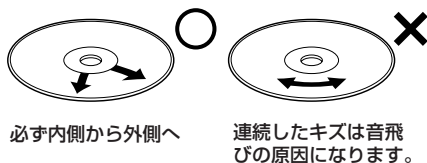
# お手入れ

## CD(コンパクトディスク)のお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にごくまわってください。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。



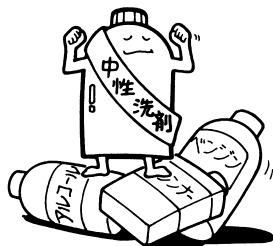
## 本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

### ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



## ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに  
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談  
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の  
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」  
をご覧ください。

☎ 0120-977846 (フリーダイヤル)  
FAX (027) 254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>

カーAV機器ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

# JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

## 日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎ (027) 254-8926